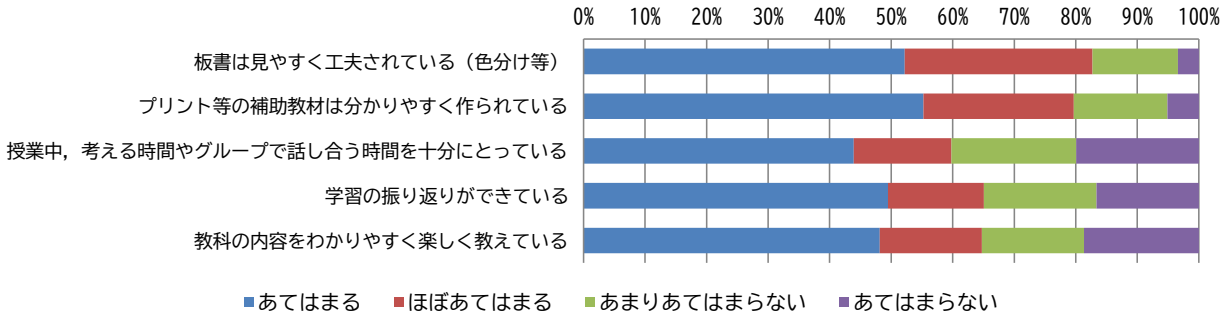
令和６年度　２学期　生徒授業評価アンケート

教科名	国語	重点目標	知識・技能を定着させ、思考や協働学習をじっくり行える授業づくり

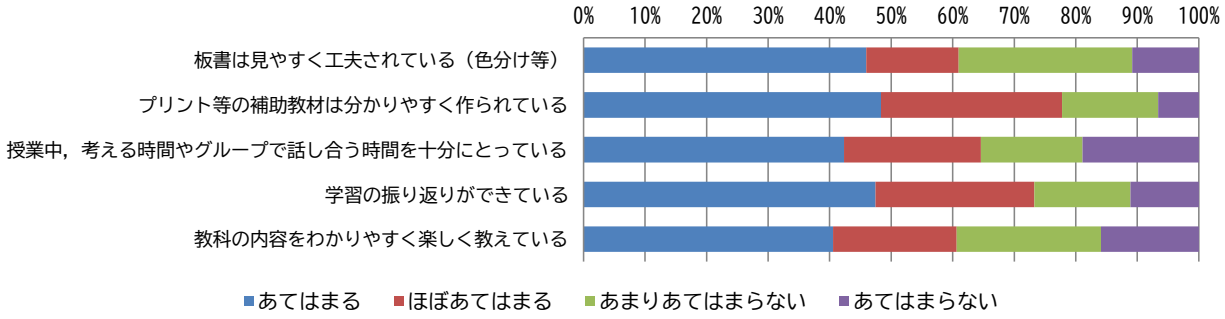
学習指導に関する現状と課題（２学期・生徒による授業評価アンケートより）

１年　国語



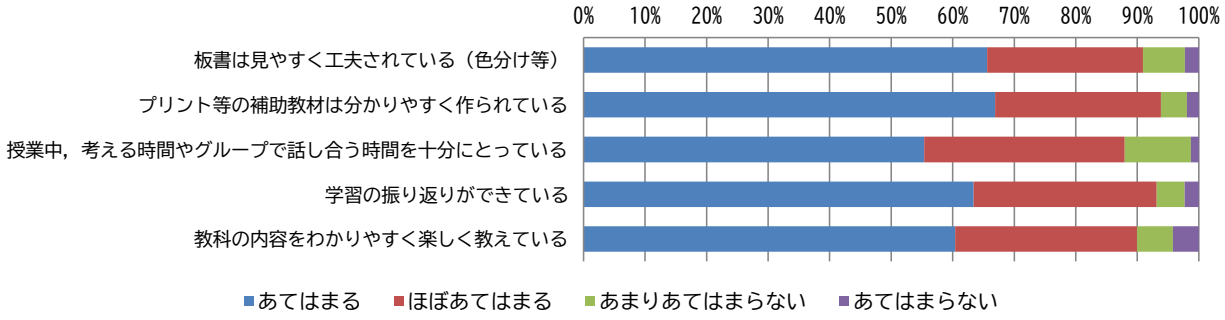
分析	１学期に比べて大きな変化がないものの、考える時間や話し合う時間の確保と学習の振り返りが引き続きの課題と考える。これらの課題は学習の定着に不可欠な要素となるため、今後、より一層の改善を図る。具体的には思考ツールの有効活用などで改善をしていく。また、板書の工夫やプリントの工夫についてはより一層の改善を図る。

２年　国語



分析	１学期に比べ、肯定的な回答の割合に大きな変化はなかった。回答結果の中でも「板書」と「教科の内容」に関する項目に関しては特に本学年の課題と言える。この２項目は特に授業を展開するうえで密接に関係しているため、本学年を担当している教員間での連携を密にし、修正する必要がある。授業を担当する教員に関わらず、生徒にとって「わかる授業」、「楽しい授業」を展開するため、アンケート結果をもとに学年としてブラッシュアップしていく。

３年　国語



分析	指導事項を明確にし、授業改善を行った結果、１学期に比べて「板書」「プリント」「振り返り」「教科内容のわかりやすさ」に対する肯定的評価の割合が増えた。「考える時間、グループで話し合う時間」が足りないと感じている生徒が約12%いるが、個人差が大きい部分でもあるため、生徒の実態に合った学習課題を用意することや、個別最適な指導を充実させることで、どの生徒もよくわかると感じられる授業を目指していきたい。